

主体的に学び、 表現しようとする児童

2学年

進んで本を読み、
自分が見つけた
疑問について、
主体的に調べようとする子

【生活科】

「生きものなかよし大作せん」

- ・身近な自然や生きものに触れ合い、観察することを通して、それらの違いや特徴を見付ける。
- ・身近な自然に浸り、諸感覚を磨いたり感性を豊かにしたりする。

「みんなで つかう まちのしせつ」

- ・地域にある図書館に行き、実際に施設を利用する。
- ・地域の図書館を、多くの人々が利用しやすくなるようにするために、利用方法やきまり、支えている人々の存在があることに気付く。
- ・地域の図書館で働く人々にインタビューし、集めた情報をパンフレットにまとめる。

【図工科】

『「お話びじゅつかん」の絵を書こう』

- ・文学的な文章を読み、一番心に残った場面を絵に表す。
- ・表したい場面に合わせて、道具の使い方や描き方を工夫する。

【道徳科】

「春がいっぱい」

- ・自然愛護

【読書科】

「生きものけんきゅうはっぴょう会をひらこう」

- ・図書館の利用方法とマナーを知り、読みたい本をタイトルなどから選ぶことができる。
- ・図鑑や情報ファイルなどの資料を使って調べる。
- ・選んだ本を読み、内容を理解する。
- ・調べたい疑問を見付ける。
- ・面白いことや知りたいことを書き出す。
- ・本の名前と書いた人の名前を書く。
- ・調べたことを比べたり、伝える順番を考えたりする。
- ・感想を入れて、身近な人に伝える。
- ・進んで本に親しむ。
- ・疑問を見付けて、進んで学んでいこうとする。
- ・身に付けた資質・能力を他の学習や実生活につなげていこうとする。

【国語科】

「すみれとあり」

「さげが大きくなるまで」

- ・説明的な文章を、時間的な順序や事柄の順序を考えながら、写真などを手掛かりに、内容の大体を捉える。
- ・読み手が必要な情報を適切に見付けることを意識しながら、内容をとらえるとともに、重要だと考えられる語や文を文章の中から見付ける。

「あったらいいな こんなもの」

- ・相手に伝わるように、話す事柄の順序を考える。
- ・伝えたい事柄に応じて、声の大きさや速さを工夫する。

『「お話びじゅつかん」を作ろう』

- ・文学的な文章を読み、一番心に残ったことを伝え合う。
- ・互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて、質問する、復唱して確かめる、共感を示す、感想を言うなど、話をつなぐ。

「図書館で本をさがそう」

- ・図書館の利用方法、マナー、本の配架場所などを知る。レファレンスを利用する。